

令和 8 年度当初予算

～ 未 来 共 創 予 算 ～

令和8年度は、「安心・快適な暮らしを実現する事業」、「活力と魅力あふれるまちづくり事業」、「一人ひとりを育む事業」を3つの重点施策としました。物価高が続く中、経済情勢や物価動向を踏まえ、市民の皆さまの生活を支えるために必要な事業を盛り込みました。10年先、20年先を見据えた事業の見直しなど、持続可能な行財政運営を行いつつ、市民一人ひとりが「強み」を生かし、活躍することができるようなまちづくりを力強く進めていきます。今回の内容は、3月議会に提出した議案を基に掲載しています。

詳細 財政課 ☎ 058-383-1132

■ 予算の概要

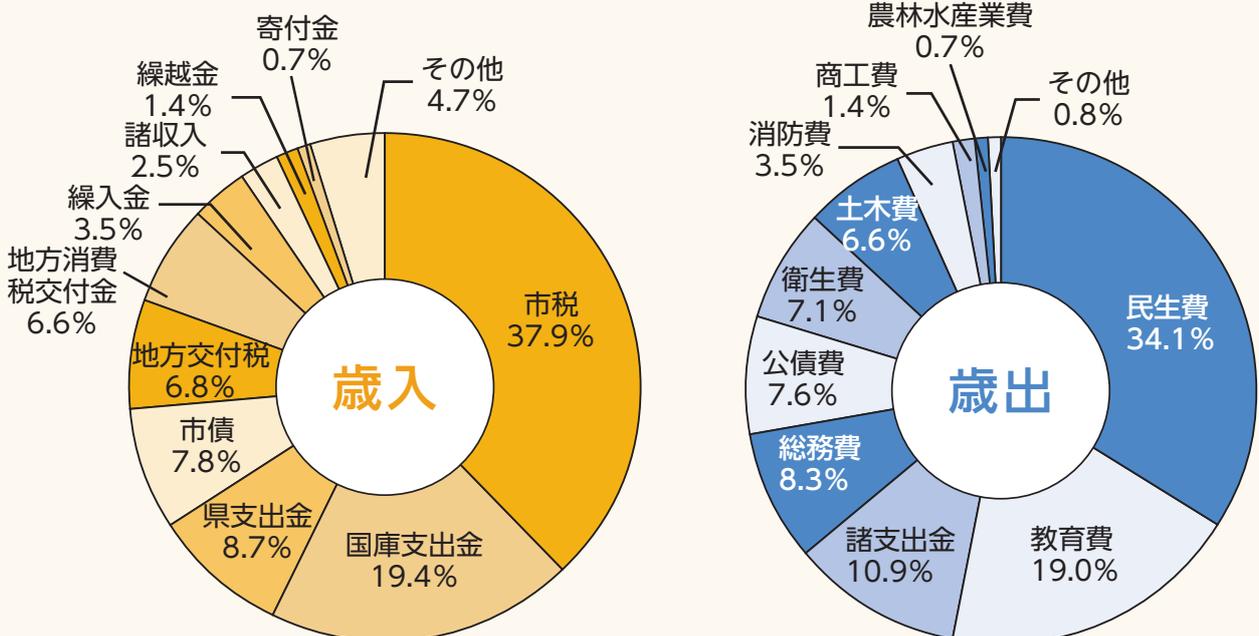
一般会計の当初予算額は、620.4億円（対前年度当初比 -9.8億円、-1.6%）です。

扶助費や公債費などが増加した一方で、北清掃センター基幹的設備改良事業完了などにより、全体では昨年度より減少しました。



会計	予算額	
一般会計	620億 4,000万円	
特別会計	国民健康保険事業	128億 3,064万円
	介護保険事業	142億 8,383万円
	後期高齢者医療事業	50億 5,472万円
企業会計	水道事業	48億 2,151万円
	下水道事業	66億 3,438万円
合計	1,056億 6,508万円	

■ 一般会計 歳入・歳出の内訳



次ページから3つの重点施策を紹介します。

重点施策

令和8年度の予算は、次の3点に重点を置いて編成しました。このページでは、重点施策ごとに具体的な事業を紹介します。

I 安心・快適な暮らしを実現する事業

夏季熱中症対策事業 7億4,994万円

昨今の記録的な猛暑の常態化に対応するため、小・中学校の夏休み延長、体育館への空調設備設置の前倒し、小学校への冷凍庫（冷却グッズの冷却・保管用）の設置を行います。体育の授業や登下校時の暑さ対策を強化し、児童・生徒の熱中症リスク軽減を図ります。



水質改善対策事業 11億476万円

「もっと」安全で安心な水道水を安定的に供給するため、令和8年度中の完成・運用開始に向けて、水道事業では全国で初となるイオン交換樹脂を用いたPFAS専用の浄水処理施設の整備を確実に推進します。また、現在行っているPFOS・PFOAなどの濃度検査や曝気槽内に設置した活性炭の交換など、^{ばっきそう}応急対策を含めた維持管理も着実に継続します。

公共施設予約システム更新事業 3,957万円

公共施設予約システムのシステムの更新を行います。新システムでは、現行の機能を継承しつつ、利用者の利便性向上のため、オンラインでの決済や利用者登録機能を導入します。

予算の詳細は市ウェブサイトで見ることができます。また、市の予算や事業についてわかりやすくまとめた「わかりやすい予算書」も公開しています。



II 活力と魅力あふれるまちづくり事業

学びの森プロムナードイルミネーション設置事業 602万円

市の冬の風物詩となっている「学びの森プロムナード」のイルミネーション。冬だけでなく夏にも期間限定のライトアップを実施するなどして、さらに魅力あふれるスポットをつくります。



名電各務原駅前広場整備事業 1,220万円

名電各務原駅利用者の利便性・安全性の向上および駅周辺の路上駐車を解消し、地域の生活環境の改善を図るため、駅前広場の整備に着手します。令和8年度は設計を行い、整備箇所などを決定します。

SNS魅力発信事業 164万円

メインターゲットを名古屋圏に住む子育て世代に設定し、都市の利便性と豊かな自然を兼ね備えた暮らしやすさや、充実した子育て・教育施策などの市の魅力を、SNS広告により発信します。市をより多くの方に知ってもらい、興味関心を深めてもらうことで、移住定住の促進を図ります。



III 一人ひとりを育む事業

結婚相談所会員であえーる事業 36万円

結婚相談所会員に限定した小規模婚活イベントを開催し、成婚に向けた会員の活動を後押しします。

女性活躍推進・職場環境改善補助事業 1,000万円

女性にとって働きやすい環境を整備する市内中小企業などの取組を支援するため、女性専用設備の改修・設置費用やコンサルティングなどに係る費用の一部を補助します。

那加教育福祉複合センター（さくらスクエア）運営事業 1,255万円

就労継続支援B型事業所、中部学院大学、あすなる教室を特別支援学校跡地に集約し、市民の福祉などの総合的な推進や教育関連事業などの推進を図る施設を運営します。